

**【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト** 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名 熊本大学 個人・グループ名 岡田拓也 作品名 回転座椅子

### ■ 製作の動機

祖父の介護で毎日何時間も立ちっぱなしの祖母にリラックスしてもらいたく思い、敬老の日に合わせて製作した。

### ■ 特徴

- ・材料は1×4と2×4のSPF材を使った。オプションとして、回転部分に市販のテレビ回転台(耐荷重 100kg)を使用した。
- ・座ったまま向きを変えられるように、底にテレビの回転台を装置した。
- ・テレビ台の装置以外は、ほぞ接ぎ, 相欠き接ぎ, 相はぎのいずれかで接合しており、ねじ, 釘等は使用されていない。
- ・肘掛を付けることにより、背もたれの強度を増強させた。
- ・高齢である祖母が使用するので、角を取り丸みをつけ安全性を高めた。また、美観も求めるために、肘掛の丸みはコンパスを用いて半円形に加工した。
- ・環境面の観点より、材料は1×4材, 2×4材をそのままの大きさか、半分にした。
- ・祖母の利き腕である右腕の肘掛を長くすることにより、グラスやテレビのリモコンを置いたりできるようにした。
- ・木の質感をそのまま残すために塗装は施さなかった。



側面より



上方より



底裏面より



相欠き接ぎ



通しほぞ接ぎ



丸み



相はぎ部



左右の長さの違い



相はぎ部

